

《第4次岐阜県教育振興基本計画》 ◆「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」の育成 ・《自立力・共生力・創造力》 《東白川村教育目標・教育夢プラン》 ◆村を愛し、よりよい生涯と社会を築くために、心豊かにたくましく生きる人間性の育成 ◇少子高齢化の中であっていきいきと暮らせる事業を展開する。特に義務教育学校への転換準備を計画的・積極的に進める。	《学校課題》 ○生徒一人一人に自己有用感を積み上げ、「夢や希望のもてる生徒」の育成 ○自ら判断・行動し、協働して取り組む態度の育成 ○主体的・対話的で深い学びの実現 ○地域や少人数の特性を生かし、ふるさとを愛し、ふるさとの未来と自己の生き方を見つめる生徒の育成
---	---

学校の教育目標

〈 自ら 〉 求め 鍛え 高めあう
 ～胸が張れる学校・胸が張れる生徒～

目指す生徒像

確かな学力	豊かな人間性	健やかな心と体
□自ら学び、進んで問題解決できる生徒	□願いと思いやりの心をもって、仲間とともにやり抜く生徒	□心と体の健康について考え、自ら行動できる生徒

指導の重点

◎最重点 ○重点

◎深い学びを実現する授業改善 ・学びたい、必然性のある課題 ・出口を明確にした1時間・単元 ・見通し→追究・対話→振り返り (対話時間の確保) ○個に応じた確かな学力の定着 ・自己選択・判断の場の設定 ・学習習慣・家庭学習の充実 ・好き・得意の芽を伸ばす指導 ・ICTの効果的な活用 ○コミュニケーション能力の強化 ・読書に親しむ環境づくり ・意図的な話さ場の設定 ◆「授業がよく分かる」→90% ◆「課題解決に自分で考え、自分から取り組んでいる」→90%	☆東中4本柱の指導 『挨拶』『掃除』『合唱』『授業』 ◎学校・学級文化の創り手となる活動 ・願い→行動(自己決定)→振り返り ・自立を意識・価値あること(本質)の追及 ・異学年交流活動の積極的推進と自治力の醸成 ○「考え、議論する道徳」の実践 ・多様な考え方と出会い交流する授業 ○高い人権意識の高揚 ・違いを理解し、互いを尊重する活動 ◎地域と願いを共有し共に創る学びの充実 ・体験重視・地域色重視 ・本物・本質に学ぶふるさと・キャリア教育 ◆「学校に来ることが楽しい」→3.5 100% ◆夢や目標をもっていますか→50% ◆「自分にはよいところがある」→80%	◎自己管理能力の強化 ・生活習慣を見つめる活動 ・自律的なメディア利用 ・生徒会とのタイアップ、自立を意識・価値あること(本質)の追究 (自治力の醸成) ・食育、歯科、性に関する指導 ・運動に親しむ機会の充実 ○教育支援体制の充実 ・生徒指導交流による共通指導 ・小学校、保護者、関係機関との連携 ・SC等専門家との連携強化 ◆学校事故・交通事故=0 ◆就寝1時間前ノーメディア→50% ◆さわやか情報モラル→3.50
--	---	--

学校・職員のスタンス

教育の理念『自啓・創造・協同』

① 生徒一人一人を大切に、常に資質の向上に努め、学校(学級)で胸が張れる教師 〈使命感と責任、学び続ける教師、確かな指導力 勤務の適正化 確かな社会認識、危機管理〉 ・「全ての生徒が主役(自己判断・自己決定の場)」の原則 ・「どの子にも」と「この子には」の視点 ・気づく(聴く)、つく(関わる)、つなげる(広げる) ・地域の人、物、施設を積極的に生かす ・東白川中だからこその教育実践 ② 保護者や地域の願いを大切に、地域で胸が張れる教師 〈家庭・地域との連携、小学校との連携、地域クラブとの連携、積極的で、親密な対話、情報発信、保護者、地域と願いを共有〉 ③ 社会の一員として、自身の地域、家庭でも胸が張れる教師 〈ワークライフバランス、自身も地域の一員として役割を果たす、地域社会人〉 指導のキーワード「胸が張れますか」「社会に出たときどうなの」「(東中らしい)楽しいことやろうよ」
